

平成28年度

食育・健康づくりに関する

市民アンケート調査報告書

平成28年12月

新潟市

目次

第1章 調査概要	1
1 調査目的	1
2 調査項目	1
3 調査の設計	1
4 回収結果	1
5 集計結果の数字の見方	2
6 回答者の構成	3
(1) 性別	3
(2) 年齢	3
(3) 職業	4
(4) 地区	5
(5) 家族構成	5
第2章 調査結果	7
1 体格 (BMI の状況)	7
2 「食育」に対する意識	8
(1) 「食育」への関心度	8
(2) 「食育」の実践度	13
(3) 食育を実践していない理由	18
(4) 食べ物を無駄にしないための行動	21
(5) 伝統的な料理や作法の大切さ	26
(6) 地域や家庭で受け継がれてきた料理や食べ方・作法の継承	31
(7) 地域や家庭で受け継がれてきた料理や食べ方・作法の次世代へ伝承	36
3 日ごろの食生活の状況	41
(1) 健全な食生活実践のために参考にしている指針等	41
(2) 「地産地消」の実践度	44
(3) 主食・主菜・副菜のそろった食事の回数	49
(4) 生活習慣病予防や改善を意識した食生活の実践度	54
(5) 健康のために食事意識していること	59
(6) この1か月間の野菜・緑黄色野菜・果物の摂取頻度	66
(7) 朝食の回数	76
(8) 朝食を食べない理由	81
(9) 地域や家族、友人などと食卓を囲んで食事をする事の大切さ	83
(10) 家族と朝食を食べる回数	88
(11) 家族と夕食を食べる回数	93
(12) この1週間で朝食または夕食を家族と食べた回数	98
(13) 家族と食事を一緒に食べることの良い点	103
(14) 家族との食事に対する意識	105
(15) 食事の時の家族間の会話の大切さについての認識や実践の程度	106
(16) 食べ方への関心度	111
(17) ゆっくりよく噛んで味わって食べている頻度	116
(18) かねて食べる時の状態	121
4 「食の安全」について	124
(1) 食の安全に対する関心度	124
(2) 特に関心があること	129
(3) 食の安全に関する知識を持っている程度	131
(4) 安全な食生活を送ることについての判断の程度	136

(5) 新潟市における食の安心・安全の確保に対する取組状況	141
(6) 特に不十分だと感じている取組	146
(7) 食の安全に関して必要としている情報	148
5 健康づくりに対する意識や状況	150
(1) 自身の現在の健康状態	150
(2) 睡眠による休養	155
(3) ストレスがある時の対処法	160
(4) 定期的に継続している運動の実施状況	163
(5) 1日60分くらいの運動習慣	168
(6) 喫煙習慣	173
(7) 受動喫煙の機会	178
(8) 慢性閉塞性肺疾患（COPD）という言葉や意味の認知度	179
(9) 飲酒の頻度	184
(10) 平均飲酒量	189
(11) 歯科健（検）診の受診状況	194
(12) 歯間部清掃用具の利用状況	199
(13) 「内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）」という言葉や意味の認知度	204
(14) メタボリックシンドロームの予防・改善の取組状況	209
(15) メタボリックシンドロームの予防・改善のために実践していること	214
(16) 「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」という言葉や意味の認知度	216
(17) 最近1年間の健診や人間ドックの受診状況	221
(18) 最近1年間のがん検診の受診状況	223
(19) がん検診の検診場所	225
(20) がん検診を受けなかった主な理由	236
(21) 地域の人たちとのつながり	241
(22) 最近1年間のボランティア活動・地域活動の参加状況	246
6 農林漁業体験について	248
(1) 農林漁業体験の参加経験の有無	248
(2) 参加した農林漁業体験の内容	253
(3) 今後の農林漁業体験への参加意向	256
7 食育や健康づくりに関する情報やサービスの利用状況等	261
(1) スーパーマーケット等の取組や情報で利用しているもの	261
(2) 食育に取り組むスーパーマーケット等に対する印象	265
8 食育や健康づくりに関しての意見・提案（自由記載）	270

資料編

調査白票

第 1 章

調査概要

第1章 調査概要

1 調査目的

「新潟市食育推進計画（H24～28）」、「新潟市健康づくり推進基本計画（H26～30）」および「新潟市歯科保健計画（H26～30）」の評価のために、市民の食育・健康づくりに関する意識や実践状況等を把握するとともに、今後の施策検討の基礎資料とすることを目的とする。

2 調査項目

- (1) 体格（BMI の状況）
- (2) 「食育」に対する意識
- (3) 日ごろの食生活の状況
- (4) 「食の安全」について
- (5) 健康づくりに対する意識や状況
- (6) 農林漁業体験について
- (7) 食育や健康づくりに関する情報やサービスの利用状況等
- (8) 食育や健康づくりに関しての意見・提案

3 調査の設計

- (1) 調査地域 新潟市
- (2) 調査対象 満20歳以上の男女個人
- (3) 標本数 3,000人
- (4) 抽出方法 確立比例系統抽出法
- (5) 調査方法 郵送法（調査票の配布・回収とも）
- (6) 調査期間 平成28年9月5日～9月23日

4 回収結果

有効回収数（率） 1,534人（51.1%）

【参考】性別、年齢別、居住地区別回収結果

(1) 性別

調査対象者	標本数	回収数	回収率
男性	1,407人	620人	44.1%
女性	1,593人	851人	53.4%
性別不明		63人	

(2) 年齢別

調査対象者	標本数	回収数	回収率
20～29歳	329人	106人	32.2%
30～39歳	425人	171人	40.2%
40～49歳	567人	226人	39.9%
50～59歳	465人	244人	52.5%
60～69歳	531人	346人	65.2%
70歳以上	683人	423人	61.9%
年齢不明		18人	

(2) 居住地区別

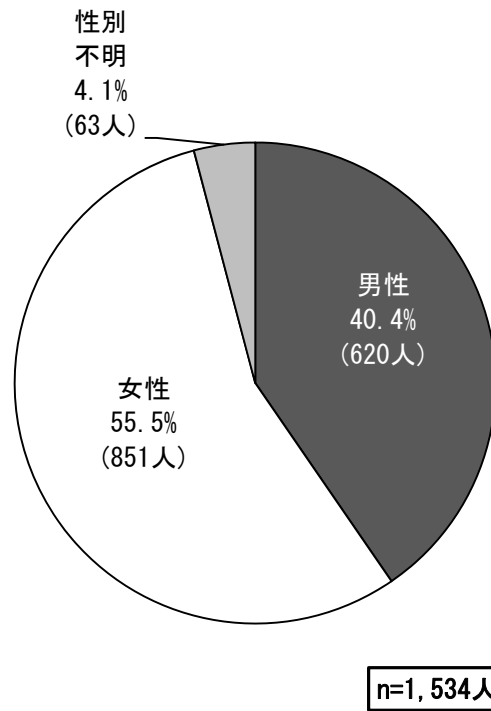
調査対象者	標本数	回収数	回収率
北区	282人	141人	50.0%
東区	516人	259人	50.2%
中央区	667人	325人	48.7%
江南区	257人	130人	50.6%
秋葉区	291人	147人	50.5%
南区	174人	88人	50.6%
西区	588人	311人	52.9%
西蒲区	225人	116人	51.6%
居住地区不明		17人	

5 集計結果の数字の見方

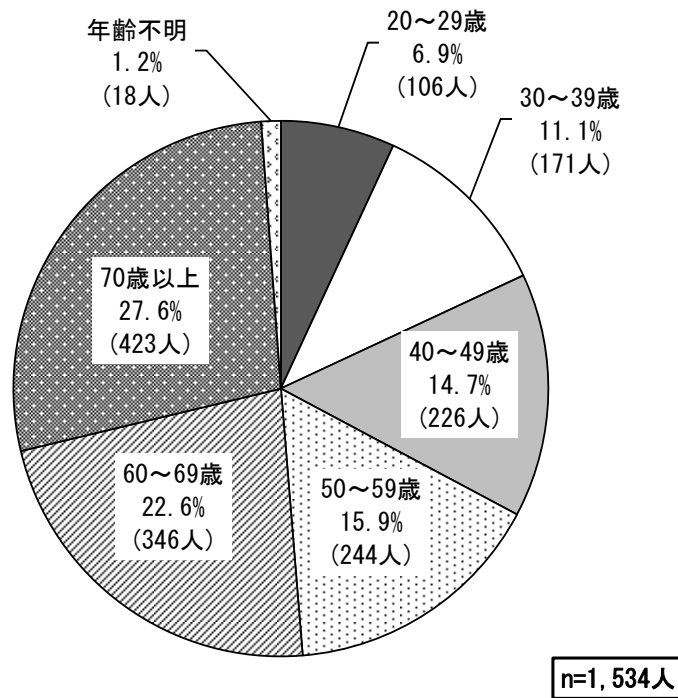
- (1) 結果は百分率(%)で表示し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した結果、個々の比率が合計100%にならないことがある。
また、複数回答(2つ以上の回答)では、合計が100%を超える場合がある。
- (2) 図表中の「n (number of cases の略)」は、質問に対する回答者の総数(該当者質問では該当者数)を示し、回答者の比率(%)を算出するための基数である。

6 回答者の構成

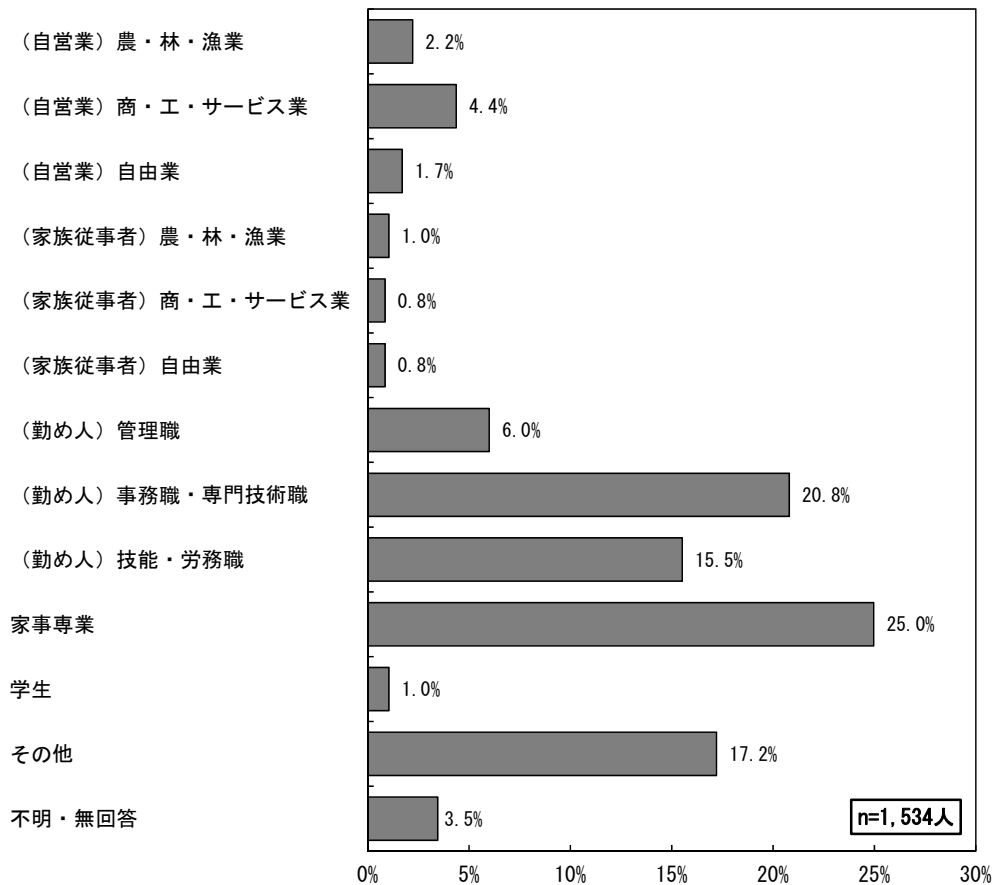
(1) 性別



(2) 年齢



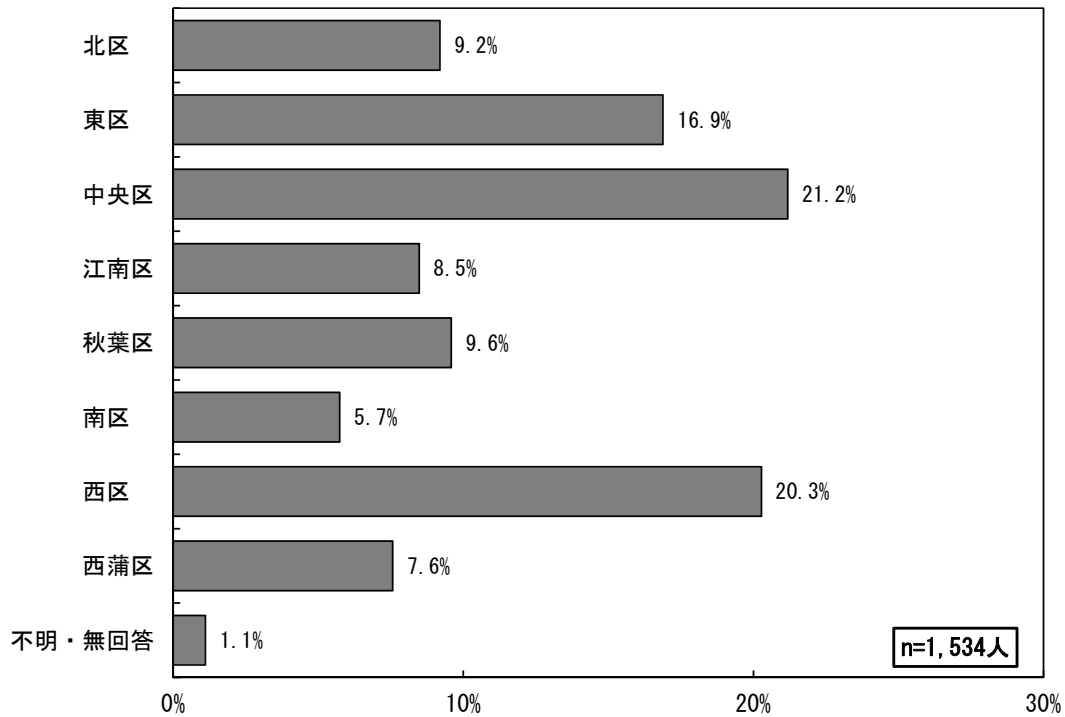
(3) 職業



全体	自営業			家族従事者			不明・無回答
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	
1,534	34	67	26	16	13	13	
	勤め人			無職			不明・無回答
	管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
	92	319	238	383	16	264	53

(人)

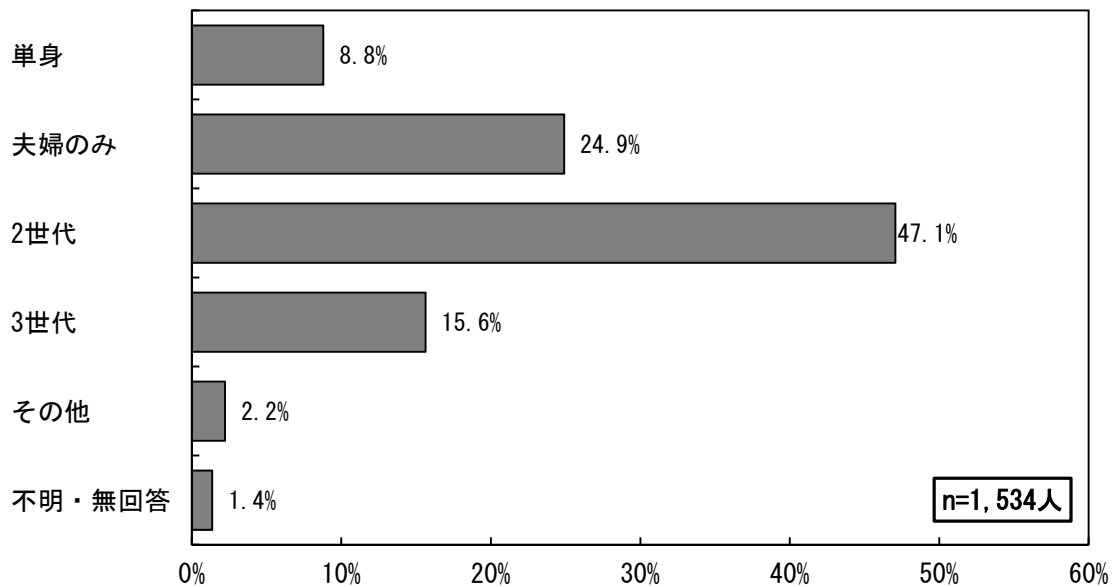
(4) 地区



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	不明・無回答
1,534	141	259	325	130	147	88	311	116	17

(人)

(5) 家族構成



全体	単身	夫婦のみ	2世代	3世代	その他	不明・無回答
1,534	135	382	722	240	34	21

(人)

